

使い方 詳しく説明

- ① 直射(日光)を避け、水平な台の上に置く。
- ② はじめに(接眼)レンズ、次に(対物)レンズをつける。

理由：鏡筒や対物レンズにゴミが入らないようにするため。
(はじめに接眼レンズを取り付けてふたをするようなイメージ)

- ③ (レボルバー)を静かに回して最低倍率にしたあと、しほりを調節し、(接眼)レンズをのぞきながら(反射鏡)を動かして視野全体が最も明るくなるようにする。

最初は焦点深度(←ピントの合う範囲のこと)が(深)く、視野の(広)い低倍率で観察する。
反射鏡はふつう低倍率では(平面)鏡を使用する。

- ④ プレパラートをステージの上ののせ、クリップで固定する。
(試料がレンズの真下にくるように)
- ⑤ (横)からのぞきながら(調節ねじ)を回してステージを上げ、(対物)レンズに触れる直前までプレパラートを近づける。
- ⑥ 次に(接眼)レンズをのぞきながら、(対物)レンズとプレパラートをゆっくり(遠ざ)けるように(調節ねじ)を回してピントが合うまでレンズと試料の間を離していく。
- ⑦ 鮮明な像が見えるように(しほり)を調節する。

↓
レンズから入ってくる光の量を調節する装置